

扇山小学校の具体的な教育活動

～「判断基準は子どもの成長」～

「学び続ける子」を育てます

1 学ぶ喜びを実感し、学ぶ意欲を高める

子ども一人一人の興味・関心を把握し、課題意識を高め、見通しを持って基礎的・基本的な知識や技能を着実に習得する学び方（問題解決的な学習）の指導を工夫することによって、子どもたちが学ぶ喜びを実感し、学ぶ意欲を高めることができるようにする。

そのために、以下のことに取り組む。



- (1) キャリア教育の推進に当たっては、「マイノート」なども有効に活用して取り組む。
- (2) 豊かな心を育てる道徳教育の推進を図る。道徳の授業改善を図るため、道徳の授業参観（参観日）や「私たちの道徳（“心のノート”を改訂したもの）」の活用、地域人材の活用などを図る。
- (3) ICT等を活用した授業改善、国語・算数を中心とした基礎・基本の定着
- (4) 少人数習熟度別指導の充実、ティーム・ティーチング授業の充実
- (5) 基本的な学習態度や学習過程の徹底と家庭学習の充実・習慣化（放課後教室を継続）

家庭学習の充実のために「家庭を学びの環境に」の冊子を見直しを行い、各家庭に配布し、学校と家庭が協力して計画的・継続的に子どもたちへの指導・支援が行えるよう働きかけを強める。

- (6) 国語科・算数科を中心にした授業改善、学び方の定着、言語活動の工夫と充実

基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るため、「国語の基本」「算数の基本」を設定し、指導のポイントを明確にし、授業を進める。学習のルールや話し合いの手立てなど基本的な学習態度についても、指導の徹底を図る。

- (7) 5分読書活動の継続（毎朝）、読書環境の整備（「ひろば」に本を配置、ブックトラックの活用）

子どもたちの読解力、表現力の育成をねらい、朝の活動の中に読書を取り入れている。5分間（8:25～8:30）を読書の時間とし、教師も一緒に読書をするようにしている。各学級にブックトラックを、各階の“ひろば”には図書室の本を置き、読書環境の充実を図っている。道立図書館や市立図書館と連携し、ブックフェスティバルを開催する。さらに、学校支援ボランティアのお母さん方による“読み聞かせ”のイベントも行っていく。朝の英語活動にも取り組む。



(8) A L Tと連携した外国語活動の充実（放課後英語子ども教室の実施）

2 子ども一人一人のニーズに合わせた支援

子ども一人一人の状況を複数の教師の目での確に把握し、子ども一人一人のニーズに合わせた支援を行う。

そのために、以下のことに取り組む。

(1) 個別支援計画（すくらむ）の充実，子どもの教育的ニーズに合わせた全校指導体制の確立（特別支援学級）

(2) 特別支援学級，ことばの教室……関係機関との連携

(3) ことばの教室の指導の充実（訪問指導の実施を含めて）



3 多様な教育活動の工夫，キャリア教育の充実

富良野市の自然・産業等の教育資源を教材とした多様な教育活動の工夫を図り，キャリア教育の充実を図る。

総合的な学習の時間では各学年以下のような教育活動を行う。

⇒ 3年：富良野市の観光再発見，独居老人との交流

⇒ 4年：ビオトープ「希望の森」に命がいっぱい，富良野市演劇祭への出演

⇒ 5年：ふるさと農業体験（J A青年部，すばるの里の協力），住みよいまちづくり

⇒ 6年：エネルギー環境教育～太陽光パネルを活用して～



「協力し合う子」を育てます

1 楽しく「いじめ」のない学校生活，基本的な生活習慣の定着

楽しく，決まりある学校生活のために必要な基本的な生活習慣について継続して指導する。あいさつ，言葉遣い，礼儀作法，廊下歩行などの指導に努める。月目標を設定し，習慣化を図るとともに指導の徹底を図る。

また，「扇山小学校いじめ防止基本方針」に基づき，いじめ防止（早期発見）のシステム構築，校内体制を整備して組織的に取り組んでいく。

(1) 教育相談 (家庭訪問), 教育相談週間, 生活の決まり (月目標), あいさつの日常化

日常的な子どもとの会話を大切にし、普段なかなか話せない子どもたちの学校での生活や学習での悩みなどを担任と子どもとがじっくりと話し合う機会を設定する。子どもと向き合い、月例会などで子どもへの理解を全教職員で深め、いじめの早期発見やその後の指導にも役立てていく。

(2) 生徒指導月例会を通して子どもの教育的ニーズの把握, 子どもたちへの指導, スクールカウンセラー等との連携

2 表現・発表活動

表現力を高め、個性の伸長を図り、創造性を養う場として日常の学習成果を発表する場を意図的に設定する。また、様々な活動の中で特に優れた成績を残したものについては、全校集会などの場で積極的に表彰する。



(1) 学芸会, 総合的な学習の時間との関連

(2) 全校音楽の取組 (音楽委員会), スクールバンド (S B)

扇山小学校の子どもたちの絆を深めるための一つとして、全校音楽に取り組む。各学期に全校合唱曲を決め、各学級で練習を重ねる。全校集会でも練習し、学芸会などでその成果を発表する。卒業式や入学式などにも気持ちのこもった歌声とともに豊かな表現力を身につけさせたい。

スクールバンドは、6年生の子どもたちで編成し、運動会、平和行進、へそ祭りなどで演奏行進を行う。富良野市音楽発表会でも練習の成果を発表する。



3 ボランティア活動, 学校行事, 集会活動等の推進

よりよい学校生活を送るために、うるおいのある学校生活を送るために、ボランティア活動, 学校行事, 集会活動等を充実させる。

全校集会は月2回 (昼休み時に), 全校音楽の練習や各種表彰などを行っている。また, 児童会の各委員会が企画した集会活動も行う。ボランティア委員会では, ユニセフ募金にも取り組んでいる。1年生を迎える会や6年生を送る会の取組も行う。

4 沖縄・宜野座小や富良野東中, 幼稚園・保育所等との交流

子どもたちに豊かな心を育むために, 他地域の小学校である沖縄県宜野座小学校との交流, 卒業生が進学する富良野東中学校との合唱を通しての交流, 近隣の幼稚園・保育所等との交流を図る。

「体をきたえる子」を育てます

1 元気に運動，丈夫な体づくり

様々な運動に積極的に取り組ませ、子どもたちの体力向上を図り、明るく健康的な体づくりを進める。そのため、以下のことに取り組む。



- (1) 体育の授業では、学年の発達段階に応じた体づくり，休み時間や放課後などに継続して行える取組の推進（学年・学級で）を図る。
- (2) 運動会，遠足，縄跳びオリンピック，新体力テスト，全国運動能力・運動習慣等調査などの取組を進める。新体力テストについては，全学年全種目を実施できるよう準備を進めている。また，学年別にマラソン大会を実施したり，水泳教室，スキー教室などを実施したりするなど，季節や富良野の自然環境に合わせた取組も行っている。

2 食育の推進，性教育指導

食べ物の働きや栄養についての理解を深め，楽しい食事を通して望ましい人間関係や豊かな心を育てるために，食育の推進に努める。年間指導計画を整備し，学級指導や生活科・総合的な学習の時間，給食の時間での指導を行う。

また，生命について学習し，自他の命の大切さ，個人差や性差を理解し互いに尊重し合い認め合うことができるよう性に関する指導を行う。各学年とも指導計画に沿って，学級活動や理科・保健などの時間に指導していく。



3 縦割り一斉清掃の取組

清掃活動を通して，仕事の手順・正しい用具の使い方・時間内に終わらせる仕事の仕方を学ぶなど，縦割り清掃を通して協力することの意義や勤労の大切さを体得させる。全校児童（1・6年，2・5年，3・4年）による縦割り一斉清掃活動を，昼の時間帯（13:00～13:15）に行っている。

4 交通安全指導の徹底

子どもの安全を確保するために，交通安全教室を富良野市自動車学校の協力を得て行うなど，国道に面する扇山小の実態を考慮して交通安全指導に力を入れている。また，登下校時の児童の安全確保のために，昨年夏から正門からの車の出入りを禁止したり，学校行事では（児童と車とが交差しないよう）グラウンドを駐車場として確保したりするなど子どもたちの安全確保を最優先に考え取り組んでいる。

併せて，教職員による下校時指導・街頭指導のほか，PTAによる交通安全街頭指導も行っている。



5 安全確保の取組

子どもたちの安全確保のために、避難訓練（集合訓練）や防犯訓練を実施している。火災や地震時の避難や学校に不審者が侵入したときなどに備える訓練である。また、下校時の指導（交通安全も含めて）集団下校訓練など登下校時の安全確保についても指導していく。防災マニュアル・危機管理マニュアルの周知を図り、防災意識・危機管理意識を高める指導も行っていく。



「地域とともにある“みんなの学校 扇山”」をめざします

1 家庭・地域との連携

学校の教育活動の様子を広く地域住民の方々に知ってもらうために、「学校だより」を地域に配布する。年間12回発行し、学校の教育方針や子どもの様子をお知らせする。学校の教育活動全般（教育活動推進プラン）についての「学校関係者評価」を実施する。保護者や地域の生の声を聞かせていただくことで、より質の高い教育活動の展開が図れるものと期待する。広報活動を通して学校を知っていただき、学校への愛着を醸成するとともに、学校の教育活動へのご意見やアイデアをいただき、情報の送受信を行っていきたいと考えている。

2 子どもたちの安全・安心を守る組織 ～子どもネットワーク～

地域全体で子どもたちを育てる意識を高めていきたいと考え、「子どもネットワーク」を地域の方々と組織し、子どもたちの見守りにも協力をいただいている。「子どもネットワーク」は、交通安全だけにとどまらず不審者対策等にも役立っている。子どもたちと顔見知りで、校区内のどこでも声かけられる環境にあることは防犯上からも望ましいと考えられる。

3 学校を応援してくれる組織との連携 ～おやじの会～

地域の人たちが大勢集まって、昔あった盆踊りを再現しませんか。屋台があって、子どもたちが矢倉の下で楽しく踊る。大人たちもその輪の中に入り、一緒に踊り、一緒に楽しく語らう。地域の大人も子どもも顔見知りになり、街で会っても挨拶ができる。そんな扇山小の校区であってほしい。……（夏祭り IN 扇山「子ども盆踊り大会」の案内文書から引用）

子ども盆踊り、環境整備、ウィンターフェスティバル等々、様々なご支援をいただいている。今年度も連携を密にして、「すべては子どもたちのため」に活動していきたい。

4 校内の環境整備、ホームページの充実

子どもの成長や1年間のあゆみなどを中心に、明るく楽しい学校にふさわしい校内掲示の工夫に取り組むとともに、学校の教育活動を幅広く紹介する扇山小学校のホームページを運営していく。

また、緊急連絡のための一斉メール送信システム「まちcomiメール」の活用も進める。メールアドレス登録の割合をさらに上げることにより、より緊密な情報交流ができるものと考えている。